

第 59 回日本眼炎症学会

募金趣意書

会 長 海老原 伸行
(順天堂大学医学部附属浦安病院)

ご挨拶

謹啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

第 59 回日本眼炎症学会を開催させていただきます順天堂大学医学部附属浦安病院眼科の海老原伸行でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご存知の通り眼炎症学会の前身である日本ぶどう膜炎研究会は 1976 年に第 1 回の研究会が開催され、1991 年の第 20 回より日本ぶどう膜炎・眼免疫研究会、1998 年の第 32 回より日本眼炎症学会と会の呼称が変わっています。以上のような呼称の変化の背景には、眼炎症学会の主なテーマは「ぶどう膜炎」になりますが、より広義に臨床・研究面で網膜・ぶどう膜・強膜の炎症に対応する学会を目指してきたと思われまふ。近年の炎症に関する分子生物学的知見の集積により、ぶどう膜炎以外の網脈絡膜疾患または正常な網脈絡膜の生理的働きにも免疫細胞が深く関与していることが明らかになっています。また最近のシングルセル RNA 解析では、同じ免疫系細胞でも疾患による微小環境で多様な働きをすることがわかってきました。さらに慢性炎症という概念は多くの生活習慣病の発症にも関与しています。

ゆえに本学会ではより広い意味で網膜・ぶどう膜の炎症性疾患をとり上げました。シンポジウム「炎症と網膜疾患」では糖尿病網膜症、網膜色素変性、AZOOR、加齢黄斑変性の病態における炎症の関与を検討します。また合同開催する日本眼感染症学会、日本眼アレルギー学会、日本涙道・涙液学会とも、広義の炎症を共通テーマとして有機的なつながりを求めました。4 学会合同シンポジウムでは、炎症と感染が関与する感染性ぶどう膜炎の最新の診断についてお話を伺います。招待講演(日本眼科アレルギー学会と合同)は、東京科学大学 総合研究院の烏山 一先生にお願いいたしました。先生は血液中の希少細胞である好塩基球が免疫・感染・アレルギーの病態に重要な役割を演じていることを世界に先がけて報告なさいました。一種の細胞がその微小環境により役割を変えていく研究の醍醐味を味わっていただきたいと思います。

難治性ぶどう膜炎は薬物療法だけでは視力回復は困難であり手術が必要です。シンポジウム「ぶどう膜炎と手術」では、硝子体手術、緑内障手術、角膜手術の適応と最新情報を伺います。一般によくぶどう膜炎の診断は難しいといわれています。多くの若い医師には画像診断(イメージング)が華やかな網膜硝子体分野が人気です。そこで教育シンポジウムとして「ぶどう膜炎の診断プロセス」を実施し、診断のコツと楽しさを伝授したいと思います。

今回は「Tetra Academic Congress in Yokohama 2026」として開催します。Tetraとはギリシャ語で「4」を、またAcademicとは古代ギリシャの哲学者プラトンが歴史上初めて主催した勉強会・研究会である「アカデメイア」よりとった言葉です。「アカデメイア」は出身地、身分、男女を問わず真理を共に探求する理論と実践を目指す会でした。一般的に勉強会・研究会というと、教師がいて聴講者がそれを学ぶ教育機関を想像しますが、「アカデメイア」は参加者がお互いに「対話(ディアロゴス)」することにより真理に近づくものでした。古代アテネから四千年の年月を超え、2026 年の同じ港町横浜で、4 学会参加者での「対話(ディアロゴス)」から新しい知識・技術の獲得に繋がれば良いと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

学会運営は参加費をもって賄うべきですが、近年の物価高に加えて更に学会発表、教育には多大の費用がかかるのが現状です。質素儉約を旨として運営を行い、参加費を集めましてもまだ多額の不足が予想されます。つきましては、学会開催の趣旨を充分にご理解いただき、何卒貴社のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

諸費用ご多端の折、誠に恐縮ではございますが、諸事情をご賢察の上、何卒ご高配の程、重ねてお願い申し上げます。

なお、抛出いただきました協賛金について、日本製薬工業協会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催企業様と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を公開することについて了承いたします。

末筆ながら貴社のますますのご発展をお祈り申し上げます。

謹言

2025年7月吉日

第 59 回日本眼炎症学会
会長 海老原 伸行
(順天堂大学医学部附属浦安病院)



開催概要

1. 学会名称

第59回日本眼炎症学会

※TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 として、第62回日本眼感染症学会、
第9回日本眼科アレルギー学会学術集会、第14回日本涙道・涙液学会総会と合同開催

2. 組織構成

会長：海老原 伸行（順天堂大学医学部附属浦安病院）

副会長：水野谷 智（千葉県眼科医会 会長）

主催：順天堂大学医学部附属浦安病院

〒279-0021 千葉県浦安市富岡2丁目1番1号

3. 会期

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 2026年7月31日（金）～8月2日（日）

第59回日本眼炎症学会 2026年7月31日（金）～8月2日（日）

4. 会場

パシフィコ横浜 ノース

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1丁目1-2

5. 開催計画の概要

1) 日程表（予定）

日程	朝	午前	昼	午後	夜
7月31日 （金）	—	開会式、一般講演 教育セミナー	ランチョンセミナー	シンポジウム1、一般講演	イブニングセミナー
8月1日 （土）	モーニングセミナー	シンポジウム2、一般講演	ランチョンセミナー	総会、 学術奨励賞受賞講演、 4学会合同シンポジウム、 一般講演	イブニングセミナー
8月2日 （日）	モーニングセミナー	一般講演、 眼炎症・アレルギー合同招待講演、閉会式	ランチョンセミナー	—	—

2) プログラム（予定）

- ・4学会合同シンポジウム
- ・眼炎症・アレルギー合同招待講演
- ・理事長講演
- ・シンポジウム1、2
- ・学術奨励賞受賞講演
- ・一般講演

3) 参加予定数

約1,000名（TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 横浜として）

6. 収支予算

収入		支出		
収入項目	金額	支出項目	金額	備考
1. 参加費収入	¥5,516,000	1. 事務局関係費	¥3,343,505	
2. 共催費	¥5,709,000	2. 製作関係費	¥1,717,350	
3. 広告費	¥1,349,700	3. 招待者関係費	¥227,504	
4. 出展費	¥1,124,750	4. 会場費・施工費・会議費	¥7,672,785	
5. 寄附金等	¥3,500,000	5. 運営要員人件費	¥1,389,910	
		6. 映像機材関係費	¥1,935,000	
		7. 業務管理費	¥385,000	
		8. 予備費	¥528,396	
収入計	¥17,199,450	支出計	¥17,199,450	

7. 寄附金募集要項

- 1) 募金の名称 第59回日本眼炎症学会
- 2) 募金目標額 3,500千円(経費総額 17,199,450円)
- 3) 募金期間 2025年7月16日～2026年7月30日(会議前日まで)
- 4) 寄附金の用途 第59回日本眼炎症学会の準備及び運営の費用に充填
なお、拠出いただきました寄附金は各社が公表する事について了承致します。
- 5) 寄附金の申込先・振込先
オンラインによる受付となります。
本会ホームページ(<https://convention.jtbcom.co.jp/tetra2026/>)の、[協賛募集のご案内] ページより、お申込みください。
なお、ご寄附をいただきました企業様には、プログラム抄録集への企業名記載を予定しておりますが、2026年5月以降にお申し込みをいただきました企業・団体様につきましては、企業・団体名の掲載が対応出来ない場合がございますので、予めご了承ください。

申込締切日：2026年7月30日(木)

<寄附金振込先>

みずほ銀行 西葛西支店 (店番:561)
普通3124103
TETRA ACADEMIC CONGRESS 会長 海老原伸行
(テトラアカデミックコンGRESS カイチョウ エビハラ ノブユキ)

- 6) 税法上の取扱い
寄附金に対する免税措置はございません。

8. 寄附お問合せ先

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 運営事務局
株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局内
〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-1-25 JTBビル8階
E-mail: tetra2026-sponsor@jtbcom.co.jp TEL:06-4964-8869
※お問い合わせは、原則E-mailでお問い合わせいただきますようお願いいたします。

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026

(第 62 回日本眼感染症学会、第 59 回日本眼炎症学会、第 9 回日本眼科アレルギー学会学術集会、第 14 回日本涙道・涙液学会総会)

協賛申込(オンライン)について

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 の各種協賛申込みは、オンライン登録にて受付いたします。

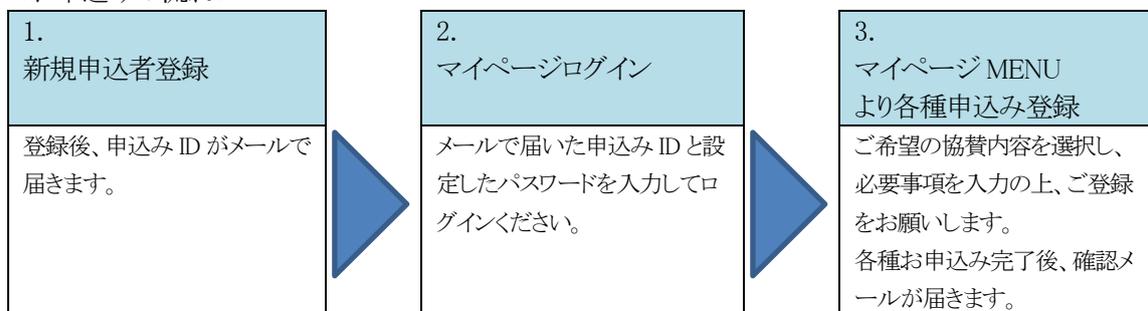
FAX の未着、お申込情報の誤入力等を防ぐため、お手数ではございますが、オンライン登録にご協力頂きたいお願い申し上げます。

インターネット環境のない場合は、運営事務局までお問合せください。

本会ホームページ内「協賛募集のご案内」より、ご登録をお願いいたします。

ホームページ URL: <https://convention.jtbcom.co.jp/tetra2026/>

<お申込みの流れ>



※推奨ブラウザ

MicrosoftEdge 最新版、Firefox 23.0 以降、Chrome 28.0 以降

※個人情報の利用目的

お名前、メールアドレス等の個人情報は、協賛申込に関して、請求書、領収書、本件に関する連絡以外の目的には利用しません。又、個人情報は第三者へは開示いたしません。

【お問合せ先】

TETRA ACADEMIC CONGRESS In YOKOHAMA 2026 運営事務局

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン コンベンション第二事業局内

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTBビル 8階

E-mail: tetra2026-sponsor@jtbcom.co.jp TEL:06-4964-8869

※お問い合わせは、原則E-mailでお問い合わせいただきますようお願いいたします。